

施策評価管理シート

2021(令和3)年6月作成

施策体系	政策	2	美しい自然に包まれ 快適に暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	環境負荷の少ない社会の創造		
	施策	2	循環型社会	地域環境部	宮崎 正秀

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



○ 資源循環型社会を構築するため、市民、事業者、行政が一体となって、ごみの減量化や資源化を積極的に進めることにより、ごみゼロ社会を目指します。

2. 令和2年度の実施内容及びその成果



- ・令和2年度から容器包装プラスチック等資源ごみ分別方法変更について、広報などにより事前周知を十分に行った結果、大きな混乱なく移行が進みました。
- ・令和3年2月の名張市指定ごみ袋の価格改定についても、広報など事前周知を十分に行った結果、大きな混乱なく移行が進みました。
- ・外国人に向けて、多文化共生センターと連携し、外国語版ごみ収集日程表を作成・配布しました(英語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、ベトナム語、フィリピン語)。
- ・ごみの適正排出促進のため、ごみ分別アプリ「さんあーる」の配信及び市広報掲載のごみカレンダーの印刷、配布しました。
- ・認定事業者との連携協定を締結し、パソコンを含む使用済小型家電回収の回収サービスを実施しリユースを促進しました。
- ・使用済みインクカートリッジの拠点回収によるリユースを実施しました。
- ・小学校等に出向き環境学習を実施しました。
- ・不法投棄等監視パトロールにより、不法投棄や不適正排出の監視などを行いました。また、不法投棄防止用ビデオカメラを導入しました。(不法投棄家電4品目回収台数:47台)
- ・チャッパ車(出勤日数:74日)やせんで用小型破砕機の利用促進を行いました(小型破砕機貸出実績:38件)
- ・地域と連携しながら、不適正排出防止への取組を実施しました。
- ・ごみの分け方出し方ガイドブックを新たに作成し配布しました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
ごみの減量・分別・資源化を実施している市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	97.0	
	成果	96.2	95.4	94.9	94.5			0.0%
一人一日あたりのごみ排出量(g)	目標	-	-	-	-	-	729.0	
	成果	734.0	732.4	733.0	733.7			6.0%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・共同住宅を中心に、ごみの不適正排出が見られます。
- ・山林などへの不法投棄が依然として発生しています。
- ・ごみの分別方法についての問い合わせが多数あります。
- ・伊賀南部クリーンセンターの大規模火災以降も、燃やすごみへのスプレー缶や電池などの混入による火災が発生しています。

5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和3年度以降)



- ・ごみ分別アプリ「さんあーる」の普及啓発に努めます。
- ・更なるごみの減量化・資源化を進めるため、市広報紙やホームページ、出前トーク等を活用し、4R(リフューズ「断る」、リデュース「発生抑制」、リユース「再利用」、リサイクル「再生利用」)の啓発・推進に取り組みます。
- ・外国語版ごみ収集日程表の配布や外国人に向けたごみ分別勉強会を開催します。
- ・不適正排出及び不法投棄については、環境レンジャーや防犯カメラの活用と共に、地域と協働で解決を図っていきます。
- ・コロナ禍が長期化した場合に備え、環境学習動画などを作成し啓発に努めます。
- ・スプレー缶や電池類などの適正排出を徹底するため、広報紙やごみ分別アプリなどを活用した啓発を行います。

施策を構成する主な事務事業

*事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています(施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます)。

*R2決算見込は、R1からの繰越額も含まれます。

*R3予算は、R3.4.1時点での金額を記載しています。(R2からの繰越額含む。)

*R3予算のみ金額が記載されている事務事業は、R3の事業内容を記載しています。

(単位：千円)

会計	事務事業名	担当部局名	担当室名	令和2年度内容	R2決算見込		R3予算	
					決算額	うち一般財源	予算額	うち一般財源
一般	エシカル消費に関する消費者教育推進事業	市民部	市民相談室	平成30年度から3年計画で国の交付金を活用し、エシカル(倫理的)消費の周知を図るため、エシカル工作教室を教育センターと共催で実施し、小学生とその保護者を対象に啓発を行いました。 (令和2年度実績) ・エシカル消費啓発工作教室の開催(3回開催:参加者73名) ・エシカル消費の認知率向上 6.7%(H30)→19.1%(R1)→20.0%(R2) ・情報発信コーナーでのパンフレットの配布による啓発	2,062	1,031	0	0
一般	ごみゼロ・リサイクル推進事業	地域環境部	環境対策室	ごみゼロ社会を目指すアクションプログラムに基づくごみの分別、減量化に向けた啓発を実施しました。 (令和2年度実績) ・容器包装プラスチック等の燃やすごみへの変更 ・指定ごみ袋の価格改定 ・3Rポスター応募報償 25千円 ・紙おむつ専用ごみ袋購入・配布(200 250,000枚) ・草木類資源化委託 など	10,756	4,469	11,162	10,488
一般	不法投棄対策事業	地域環境部	環境対策室	不法投棄の監視パトロールを通年でを行い、不法投棄物の早期発見、早期撤去を実施しました。また、家電4品目など法律でその処理方法が定められたものについて適正に処理を行いました。 (令和2年度実績) ・環境レンジャーによるごみ撤去と監視パトロール ・不法投棄物等回収専用ごみ袋作製・配布 ・不法投棄防止用ビデオカメラの導入	5,143	774	5,146	2,471
伊賀南部環境衛生組合一般会計	伊賀南部環境衛生組合一般会計	伊賀南部環境衛生組合事務局	総務室	<ul style="list-style-type: none"> 組合事務、廃棄物処理施設の管理業務 8,899千円 ごみ(可燃・不燃・資源)収集業務 437,761千円 最終処分場の施設管理業務 71,067千円 し尿処理場の運営管理業務 210,082千円 クリーンセンターの運営管理業務 788,687千円 ストックヤード施設管理業務 3,523千円 公債費 239,062千円 	2,050,745	1,630,832 (名張市の分担金)	3,529,550	2,178,205 (名張市の分担金)